

中海

発行
彦名地区チビっ子
環境バトロール隊
発行責任者 代表
向井哲朗
(電話)0859-29-3974
(FAX)0859-29-3974



紙は地球の資源です
二十一世紀は、環境の世紀です。環境問題に関心を持って、身近にできることから確実に行動実践して行きましょう。

「自然といきものみ〜つけ探検」「それ行け中海探検」両クラブ

一年間の活動成果を壁新聞に

環境調査・体験でこころ育む活動

米子市の公募制のこどもエコクラブ「自然といきものみ〜つけ探検」「それ行け中海探検」の両クラブは、昨年4月の発足交流会をスタートに毎月米子市周辺の環境調査・体験活動を行って、こころ育む活動を展開してきた。

これまでの環境調査、体験活動について両クラブとも全員が参加して、こどもエコ活動を通して自然と向き合って新たに発見したり体験したこと等について参加者全員が意見を出し合い、サポーターと意見交換して回顧、子ども達から出た建設的な意見等の活動の成果を壁新聞にまとめた。(向井哲朗)



「自然といきものみ〜つけ探検」のメンバーと壁新聞

「壁新聞作り」

「自然といきものみ〜つけ探検」クラブ

米子市立車尾小学校 5年 細田 尚

ぼくたちは、米子市福祉保健総合センター(ふれあいの里)で壁新聞をつくりました。ぼくたち自然といきものみ〜つけ探検は「自然に生きるぼくたちと生きものたち」というタイトルで新聞を製作しました。

製作第一回目、ぼくは「自分がリーダーだから題名やまとめなどを書くのかなあ・・・。」と思いながら会場に入りました。そして、みんなが集合してさっそくサポーターさんの説明があつて始まりました。みんなが自分たちの記事にぼつとついている中、ぼくは一人壁新聞の最重要ポイントの題名を考えていました。サポーターさんの助言があるもの、なかなかいい題名が思いつきません。その時、ぼくたちは生き物について学んでいるのだから生き物のことしよう!と頭でイメージがわいてきました。そして、ついに題名が完成しました。その後、サポーターさんから紙を魚とかにしてみてもいいんじゃない?という助言があつたので、そのアイデアをいだけて題名の紙が完成しました。ここで一回目の新聞作成が終わりでした。

そして第二回目の新聞作成では、他のメンバーはもう自分の記事を作成させていたので、あとはぼくのまとめの記事だけでした。去年のリーダーのまとめをみてもりっぱなまとめだったので、これをこえるぐらいのいいまとめを書こうと思いました。まとめは最初ほとんど進んでいただけ、最後つまづいてしまいました。考えこんでいると、もうすぐ終わりの時間になりそうだったので、それからすべしひらめきました。そしてついに、

「壁新聞作成について」

「それ行け中海探検」クラブ

福米東小学校 6年 樋口 大河

まとめが終わりました。それと同時にかべ新聞が完成しました。つかれたけど本当によれしかったです。今年、初めてリーダーとしてこのエコクラブの一年をむかえました。来年もリーダーになって、みんなをまとめるようなそんざいになりたいです。

ぼくは、12月2日に第一回目の壁新聞をつくりました。昨年はちがうクラブで活動をしていて、3月に開催された「こどもエコクラブ全国フェスティバル」に鳥取県代表として行くことができましたが、それはメンバーのユニークな記事や工夫のおかげだと思っています。参考に、今年ぼくが活動している中海探検クラブの昨年の壁新聞を見てみると、少しユニークさがたりないような気がしましたが、資料の使い方がとてもいいと思いました。次に、昨年ぼくたちが作成した壁新聞を見てみると、おり紙を使ったり本のように開ける記事にしている工夫がいろいろありました。本のようにかさねたり、おり紙を使うクラブは全国でも多くはいませんでした。

12月9日の第二回目の新聞作成では、人をまとめる大変さがとてもよく分かりました。なかなか新聞作成にとりかからないメンバーや、新聞記事に関係のないものを作ったりするメンバーがいたりしてたいへんでした。

気がつくくと2時間たつていて、自分のやることができなくてとても大変でした。完成までにいろいろありましたが、とてもいい壁新聞ができました。これもメンバーとサポーターの方のおかげだと思います。大変だったけど、メンバーみんな力をあわせて楽しく、とてもいい壁新聞ができてよかったです。



完成した壁新聞

こども達との「壁新聞」作り こどもエコクラブサポーター 谷野 彬成

今年度もこどもエコクラブ三チームに分かれ、壁新聞づくりを開始していますが、私もサポーターの一員としてこの作業に参加しています。改めてこども達の発想力に感心することが多くあり、その一部を発表したいと思います。こどもたちは事前にリーダーの集まりでディスカッションを行ない、全体のテーマの表現方法や、作業の役割分担を決めていくわけですが、この過程の中で一枚の紙に表現するイメージを固め、今までの行事写真や文献等の整理や配置を含め表現したいメッセージの文章等、こども達の真剣な検討を外側で温かく見守り、また求められたら助言するサポーターは、活き活きとしたこども達の発想に目を見張り、かわいくて真剣な姿は、正に得難い宝物として映っています。

- こども達の中では得意分野を活かした作品の制作があり、その一例としては、
- 一 小学校四年生にして書道初段の腕を活かしたきれいな紹介文章の展示。
- 二 生き物の優れたデザイン力を活かした、魚類や昆虫や動物の細部に渡る紹介。
- 三 今までの楽しい行事の写真を切り抜いてきれいに配置するデザインの美しさ。
- 四 キャプションの指導力も含め、これを補佐する役割のこども達の活躍等。
- 五 壁新聞づくり二回目にして各チームの品はほぼきれいに仕上がっています。

私はこの事業参加は初心者ですが、従来サポーターの皆様や市職員の子ども達への慈みを強く感じており、中海をテーマとした貴重な活動が未永く続くことを希望しています。

こどもエコクラブでは年間の活動計画を立案し、様々な状況の中でも確実に実践されている事は敬意を頭わけていますが、それにも増して行事に参加するこども達の笑顔は、何物にも代えがたいと思っています。

私たちの立場や年代から見ると、今の都会ッ子に必要なのはあらゆる場合のサバイバル術が不足していると思われませんが、このクラブに参加している子供たちを見る限りは心配無用と思われれます。

今後、こども達が野外で活動する場面や自分達で自然を相手に生活する機会を遠巻きに見守るおとな達の保護の中で多くを实践させ、次世代にたくましいこども達を育成することが現代の使命と考えています。

こども達の 明るい笑顔と仲間と考えた中海のテーマが、次世代へも 引き継がれる事を確信しており、特にこの行事を立案実践された米子市の行政当局や熟練した今までのサポーターの皆様の努力が実っているものと思ひ、今後こども達の健全育成のためにも出来る限りこの活動に参加させて頂きたいと思っています。



「自然といきものみ〜つけ探検」
壁新聞作成風景



「それ行け中海探検」



「自然といきものみ〜つけ探検」
壁新聞作成風景



「自然といきものみ〜つけ探検」
壁新聞作成風景

とっとり自然環境館だより

とつとり自然環境館では、小学生を対象としたエネルギー教室を毎月第四土曜日に行っています。再生可能エネルギーについて一緒に勉強しましょう。いつでも、申し込み見学等についてご連絡ください

見て・触れて・体感して学ぶことのできる「とつとり自然環境館」に皆さんお出かけになって、是非再生可能エネルギーの重要性、有難さについて学んでみられることをお勧めいたします。

TEL 085633